

もりの にじ

Morinoniji

2026
夏号

7月・8月・9月

take free

特集

生田緑地
ちよこっとなつ

お知らせ

最新情報はホームページを
ご覧ください。

<https://www.ikutaryokuti.jp/>



生田緑地のミュージアムから、この夏のおすすめ

岡本太郎美術館



展示室休室中も、岡本太郎美術館は開館します

無料ミニ企画「ちよこっとなつ太郎のかわいい」

「ちよこっとなつ太郎」第二弾は「かわいい」をテーマに岡本太郎作品を紹介。人や動物、河童など、「いきもの」の彫刻、家具や食器、花瓶などのアイテムにも、いきものや、顔や手足などをモチーフにした作品があります。愛らしい作品たちに会いに来てください。

7月18日(土)～12月6日(日)



- 時 間 9:30～17:00
- 場 所 岡本太郎美術館 ギャラリースペース
- 料 金 無料

※修繕工事に伴う展示室での展覧会休止について
2026年3月30日(月)から2029年3月31日(土)(予定)まで、修繕工事に伴い展示室での展覧会を休止します。2026年度は館内の無料スペースを用いた小規模展覧会を開催します。

かわさき宙と緑の科学館



夏休み企画展「太陽」

科学館の観測記録や貴重な資料などを使って太陽を徹底解剖!

7月25日(土)～8月23日(日)

- 時 間 9:30～17:00
- 場 所 かわさき宙と緑の科学館 2階学習室1
- 料 金 無料



プラネタリウム投影

- 一般向け投影(約45分)
7月「世界が描いた天の川―光と影の物語―」
8月「地球に一番近い星」
9月「忘れないでね、冥王星」
- 子ども向け投影(約35分)
- フュージョン投影(約45分)

7月22日(水)～8月23日(日)の夏休み期間は、平日もプラネタリウム4回投影! 9月1日(火)～4日(金)は保守点検のため投影はございません。各スケジュール詳細は科学館ホームページからご確認ください。

日本民家園



伝統工芸館 特別展

「藍を継ぐ―古民家に出逢う布―」

藍に染め、布を使い続ける

その営みは、暮らしの中で長く受け継がれてきました。

本展は、伝統工芸館の特別展として、日本民家園本館企画展示室にて開催します。通常は伝統工芸館で紹介している藍染めを、今回は民家園の展示室空間にて紹介します。

会場では、藍染めの工程やその美しさを紹介するとともに、実際に染められた布を通して、人の手と時間が生み出す藍の魅力をお伝えします。

6月9日(火)～7月31日(金)

- 時 間 9:30～17:00(最終入園16:30)
- 場 所 日本民家園 本館企画展示室
- 料 金 入園料のみ



「藍を継ぐ―古民家に出逢う布―」の会場風景

伝統工芸館(西門)は、工事のため6月1日(月)～8月31日(月)休館します。

1 日本民家園 (0)旧原家住宅
年中行事展示 夏座敷

広々とした畳敷きの空間に障子の敷物をしつらえ、風通しを良くするために障子を簾戸に替えています。日本民家園の正門からすぐ近くの原家にてご覧いただけます。

・展示 6月25日(木)～9月29日(火)

2 日本民家園
本館給水スポット

日本民家園本館の展示室通路に、マイボトルをお持ちの方にご利用いただける給水スポットがあります。園内は広いので、水分をこまめにとりながらご散策ください。

*本館給水スポットのご利用には入園料が必要です。

3 日本民家園 (10)旧山下家住宅
そば処「白川郷」

夏の暑い日はかき氷がのった「そば」がおすすめです。

・時間

*早じまい

*臨時休業

10 岡本太郎美術館 給水機

ガイダンスホール前(無料エリア)に給水機があります。



9 母の塔の下でひと休み



美術館のシンボルタワー「母の塔」。大きな塔の足元は人が通行できるように空洞になっています。母の塔の下にいれば、急な雨や夏の強い日差しからも守ってもらえます。

8 メタセコイアの林



まっすぐに伸びるメタセコイアが並ぶ林は、夏の散策におすすめの涼やかなスポットです。一歩足を踏み入ると、木陰に包まれ、体感温度がずっと下がるように感じられます。木々の間を抜ける風や、葉がこすれ合うやさしい音に耳を澄ませば、暑さを忘れてほんとひと息。夏の生田緑地で、静かに涼を感じられる場所です。

7 初山エリア 水生植物観賞池



ヨシやショウブが広がる湿地の中、心地よい風が吹き抜けます。シオカラトンボが飛び交い、田植えが終わった田んぼの景色は、まさに里山の原風景。懐かしい郷愁の思いが湧いてくる場所です。



木陰や風を感じながら涼めるスポットや、
息つける場所をご紹介します。
上手に“ちょこっと涼みながら”楽しんでみませんか。

4 プラネタリウム冷えてます



今年の夏もあののほり旗が帰ってきます！
科学館では、展示もプラネタリウムも涼しく
お楽しみいただけます。館内ショップ限定
で、関連グッズも販売予定です。夏の
思い出に購入してみたいはいかがでしょうか。

5 かわさき宙と緑の科学館 給水スポット



科学館1階の給水スポット周辺
では、水分補給が可能となって
おります。また、マイボトルを
お持ちであれば、いつでも冷たい
お水を入れて持ち歩くことが
できます。

*他エリアは飲食禁止となります
のでご注意ください。

6 野鳥の森



今年4月から通行止めが解除された
野鳥の森は、木陰が心地よく、ゆっ
たりとした散歩にぴったりの場所
です。木々の間を歩いていると、街
の近くにいなながらも自然の中に包
まれるような、穏やかな時間を過ごす
ことができます。また、おし沼交差点
近くには、道路沿いに設置された
フェンスがあります。これは、かつて
道路が建設される際、生き物たちの
生息環境を守るため、夜間の車両
ライトを遮る目的で建てられたもの
といわれています。人と自然が共に
ある場所として、先人の方々の生き
物たちへの思いを大切にしていき
たいものです。

科学館では「cafe 星めぐり」、岡本太郎美術館
「テリアTARO」も営業中。散歩や館内見学の間
おすすすめです。

季節のおすすめ情報

岡本太郎美術館

生田緑地にひそむ粘土の奇獣をつくろう

自分が想像したオリジナル奇獣を粘土でつくるワークショップ
です。岡本太郎作品には不思議な魅力をもつモチーフがたく
さん登場します。色とりどりのふかしぎな奇獣を粘土で一緒に
つくりましょう！

8月1日(土)

- ・時 間 10:30～12:00
- ・場 所 かわさき宙と緑の科学館 学習室2・3
- ・対 象 5才以上どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
- ・料 金 300円
- ・定 員 15名
- ・申込み 電話受付(7/9(木)10:00から受付開始)、先着順



学芸員によるワンポイントトーク

展示についての解説を“ちょこっと”学芸員がお話します。

8月2日(日)、9月6日(日)、10月4日(日)、11月1日(日)、12月6日(日)

- ・時 間 14:00～
- ・場 所 岡本太郎美術館 ギャラリースペース
- ・対 象 どなたでも
- ・料 金 無料

かわさき宙と緑の科学館

サイエンスワークショップ

子どもから大人まで楽しめる、サイエ
ンスをテーマにした簡単な実験や工作
を行います。所要時間は15分程度で、
どなたでも参加できます。内容は科学館
ホームページ・SNSをご確認ください。
*材料がなくなり次第終了。



毎週土曜日と7月1日(水・市制記念日)、20日(月・祝)
8月9日(日)、8月14日(金)、9月21日(月・祝)～23日(水・祝)
*8月1日(土)は開催なし

- ・時 間 12:30～14:30(最終受付14:15)
- ・場 所 かわさき宙と緑の科学館 2階 学習室
- ・料 金 無料

日本民家園

藍染めの コットンパールネックレス

日本民家園にある伝統工芸館の藍で染めた
コットンパールネックレス。コットンパールを
藍にくぐらせる回数がちがう濃藍と深藍の
2色展開。白いTシャツに合わせても◎。
本館ショップの他、日本民家園オンライン
ショップからも購入可能です。



オンラインショップ

二つの 「輝け杉の子像」



掛形山



大山阿夫利神社

神奈川県伊勢原市・大山阿夫利（あふり）神社の境内にある銅像をご存じでしょうか。実は、掛形山にある「輝け杉の子像」と同じ像で、戦時中の学童疎開に深く関わっています。昭和19年、戦況の悪化に伴い、川崎市の国民学校初等科3～6年生（現在の小学校3～6年生）約7,100名が集団疎開することになりました。しかし、当時は宿舎や食料などが不足し、受け入れ先の調整は困難を極めました。そんな中、大山町と大山阿夫利神社の協力により、約3,000人の児童の疎開受け入れが実現しました。

これらの像は、その感謝と平和への誓いを込め、疎開解散40周年を記念して、昭和60年（1985年）、当時の職員と児童、そして川崎市により、大山阿夫利神社境内と当時桜本国民学校が疎開していた掛形山に建立されました。なお、銅像の原物は大山にあり、掛形山のものは複製となっています。川崎には古くから大山詣りのための道「大山街道」が通っており、二子・溝口を経て大山へと続いています。川崎と大山は、信仰の道と疎開の歴史で結ばれているのです。

陽光きらめく季節に、掛形山と大山を巡りながら、二つの像に込められた平和への願いに思いをはせてみませんか。

りやくちのいきものモチダサン!



生田緑地のルールを伝えるヒーロー-MOCHIDASUN(モチダサン)

みんなで守ろう
生田緑地の
ルール



動植物を持ち帰らない、
持ち込まない
生田緑地には自然がいっぱいです。
また来年もここで会えるように、おうちには
持ち帰らないくださいね。

もりのにじの感想や
メッセージをお待ちしています!

宛先は東口ビジターセンターまで、ホームページからも投稿できます。
<https://form.run/@hibiya-yGFPtpvYHtpnlu7AvO2J>



アクセス

- 【東口へ...】小田急線「向ヶ丘遊園」駅南口より
・徒歩13分
・市バス（満19）おし沼経由「溝の口駅南口」行き
・市バス・東急バス（た83）「たまプラーザ駅」行き
「生田緑地入口」下車徒歩3分
- 【西口へ...】小田急線「向ヶ丘遊園」駅北口より
・小田急バス（向10）「専修大学前」行き終下車徒歩5分
（伝統工芸館へはこちらが便利です）
- 【とんもり谷戸へ...】JR南武線「武蔵溝ノ口」駅南口より
・市バス（満10、11、17、18）「初山」下車徒歩5分

お問い合わせ

生田緑地 東口ビジターセンター



お問い合わせフォーム
生田緑地へ
お問い合わせはこちら

TEL 044-933-2300 FAX 044-933-2055

〒214-0032 川崎市多摩区掛形 7-1-4
<https://www.ikutaryokuti.jp/>

指定管理者 生田緑地共同事業体

川崎市立日本民家園 TEL 044-922-2181
かわさき市と緑の科学館 TEL 044-922-4731
川崎市岡本太郎美術館 TEL 044-900-9898



公式ホームページ



公式X

